



ふきのとう

第46号

【発行】
社会福祉法人
秋田県社会福祉事業団

〒010-1412
秋田市御所野下堤五丁目1番地の1
TEL 018-889-8360 FAX 018-889-8361
HP <https://www.fukinoto.or.jp>
e-mail mail@fukinoto.or.jp

理事長あいさつ



社会福祉法人秋田県社会福祉事業団

理事長 佐々木 薫

日頃より、当事業団の活動にご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

この度、機関紙「ふきのとう」第四十六号をお届けできることを大変嬉しく思います。本紙が、皆様と当事業団をつなぐ架け橋となり、日頃の活動の一端をお伝えできれば幸いです。

私は、このたび六月二十四日の理事会をもちまして、理事長に就任いたしました佐々木と申します。六十年以上の歴史を持つ当法人の理事長という重責を担うにあたり、改めて身の引き締まる思いです。

当事業団のモットーである「安心と豊かな生活(くらし)」をまごころで」を常に胸に刻み、地域の皆様と共に歩みながら、与えられた社会的使命を果たす法人であり続けられるよう、誠心誠意努めてまいります。何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、今年の夏は記録的な猛暑が続きましたが、皆様いかがお過ごしでしたでしょうか。

当事業団が運営する施設では、高齢などで熱中症のリスクが高いご利用者様が多くいらっしゃいます。また、密閉された生活空間でのエアコンの継続使用は、感染症発症のリスクを高める恐れもあります。

このため、施設運営においては、室内の換気と冷房の適切な管理に加え、職員によるこまめな水分補給の声かけや健康チェックを徹底し、ご利用者様の健康と安全を最優先に、暑さ対策と感染症対策の両立に細心の注意を払ってまいりました。今後も、皆様に安心してお過ごしただける環境づくりに、より一層力を注いでまいります。

現在、中央地区老人福祉総合エリアでは、老朽化していた屋内温水プールの改修工事が継続しております。ドーム型の屋根ができあがっ

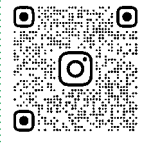
てきたことにより、工事の進捗を実感しているところですが、来年十月の営業再開を目指しておりますが、特に暑い時期には多くの皆様方からご利用いただいております施設であるため、再開を心待ちにされている皆様には大変ご不便をおかけしております。

誰もが住み慣れた地域で、その人らしく輝ける社会をつくること、それが私たちの目標です。その実現のために、ご利用者様一人ひとりの声に耳を傾け、より専門的で質の高い福祉サービスを提供できるよう、職員一同、日々努力を重ねてまいります。

今後とも、皆様の温かいご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈りし、ご挨拶とさせていただきます。

★INSTAGRAM 随時更新★
ホームページからも
閲覧できます。

詳細は、[「チラシから」](#)



【目次】

- P 1 ・ 理事長あいさつ
- P 2 ・ 障害者支援センター御所野
ICTの力で未来へ私たちの取り組み
- P 3 ・ 令和6年度決算報告
- P 4 ・ 令和6年度事業報告
- P 5 ・ 秋田県点字図書館
《夏休み点字図書館探検》
- P 6 ・ 南部エリアミニミニギャラリー

障害者支援支援センター御所野 ICTの力で未来へ私たちの取り組み

現代社会において、情報通信技術（ICT）は私たちの生活に欠かせないものとなりました。それは福祉の世界においても例外ではありません。私たちは、ICTの力を活用し、福祉サービスの質の向上、業務効率化を目指しています。ここでは、私たちが進めているICT化の取り組みについてご紹介します。

福祉施設における業務は多岐にわたります。日々の記録、利用者様の状態管理、ケアプランの作成など、膨大な情報を取り扱う必要があります。私たちはこれらの業務をデジタル化することで、職員の負担を軽減し、本来の業務である利用者様へのケアに集中できる環境を整えています。

・会議録の音声自動文字起こし、デジタル化

会議中の音声をリアルタイムで文字起こしする機器を導入しています。これにより、議事録作成の手間の大幅な削減が期待されます。また会議の内容をテキストデータとして残すことで、情報の検索性を高め、過去の決定事項や議論の経緯を素早く確認できるようになります。

・電子回覧板・掲示板機能の追加／閲覧状況の確認／リアルタイム通知

社内の通達や連絡事項を迅速かつ確実に共有するためのグループウェアの機能を活用しています。誰が回覧板を閲覧したかを確認できる機

能により、情報が確実に伝わったかどうかを把握できます。回覧板や掲示板に新しい情報が投稿された際に、関係者にメールやプッシュ通知で知らせる機能を実用しています。

その他、部署ごとの掲示板・部署やプロジェクトごとに専用の掲示板の活用や電子アンケート機能の追加／集計・分析の自動化などの取り組みを行っています。新しい取り組みも模索しています。

これらの機能を統合的に導入することで、社内コミュニケーションを活性化させ、業務プロセスの透明性を高めることの成果が少しずつできています。ICTは単なるツールではなく、職員がやりがいを持って働ける環境を創るための重要なパートナーです。私たちの取り組みにご期待ください。



職員会議の様子



YouTube を活用した口腔体操の様子



タブレット入力の様子

令和6年度決算報告

貸借対照表

令和7年3月31日 現在

(単位：円)

資産の部			負債の部				
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	2,107,978,418	2,043,436,277	64,542,141	流動負債	467,157,490	448,672,701	18,484,789
				固定負債	660,928,493	640,852,672	20,075,821
固定資産	6,698,035,751	6,299,158,815	398,876,936	負債の部合計	1,128,085,983	1,089,525,373	38,560,610
純資産の部							
基本財産	2,384,218,488	2,238,850,114	145,368,374	基本金	10,000,000	10,000,000	0
				国庫補助金等特別積立金	1,244,069,895	1,260,835,497	△ 16,765,602
				その他の積立金	3,419,015,507	3,244,446,384	174,569,123
その他の固定資産	4,313,817,263	4,060,308,701	253,508,562	次期繰越活動収支差額	3,004,842,784	2,737,787,838	267,054,946
				(内当期活動収支差額)	(441,624,069)	(144,026,152)	297,597,917
				純資産の部合計	7,677,928,186	7,253,069,719	424,858,467
資産の部合計	8,806,014,169	8,342,595,092	463,419,077	負債及び純資産の部合計	8,806,014,169	8,342,595,092	463,419,077

資金収支計算書

(自) 令和6年4月1日 (至) 令和7年3月31日
(単位：円)

勘定科目	決算
事業活動による収支	
事業活動収入計	5,190,373,571
事業活動支出計	4,609,001,508
事業活動資金収支差額	581,372,063
施設整備等による収支	
施設整備等収入計	54,335,000
施設整備等支出計	373,164,841
施設整備等資金収支差額	△ 318,829,841
その他の活動による収支	
その他の活動収入計	379,261,950
その他の活動支出計	595,248,039
その他の活動資金収支差額	△ 215,986,089
予備費支出	0
当期資金収支差額合計	46,556,133
前期末支払資金残高	1,722,889,393
当期末支払資金残高	1,769,445,526

事業活動計算書

(自) 令和6年4月1日 (至) 令和7年3月31日
(単位：円)

勘定科目	決算
サービス活動増減の部	
サービス活動収益計	5,170,629,993
サービス活動費用計	4,738,680,594
サービス活動増減差額	431,949,399
サービス活動外増減の部	
サービス活動外収益計	19,743,578
サービス活動外費用計	19,380
サービス活動外増減差額	19,724,198
経常増減差額	451,673,597
特別増減の部	
特別収益計	55,101,394
特別費用計	62,328,622
特別増減差額	△ 7,227,228
税引前当期活動増減差額	444,446,369
法人税、住民税及び事業税	2,822,300
法人税等調整額	0
当期活動増減差額	441,624,069
繰越活動増減差額の部	
前期繰越活動増減差額	2,737,787,838
当期末繰越活動増減差額	3,179,411,907
基本金取崩額	0
その他の積立金取崩額	357,153,357
その他の積立金積立額	531,722,480
次期繰越活動増減差額	3,004,842,784

事業報告・決算の詳細については、当事業団ホームページの「情報公開」ボタンからアクセスしていただくとご覧になることができます。

令和六年度 事業報告概況

(一) 県有大規模施設の今後の在り方

秋田県心身障害者コロニーについて、秋田県が主体となり、有識者による施設整備検討会が開催され、今後について一定の方向性が示されました。

秋田県南部老人福祉総合エリア養護老人ホームについて、秋田県や地元自治体等と協議を行い、令和七年度末以降を目途に廃止されることになりました。

(二) 質の高い福祉サービスの提供

利用者の高齢化・重度化に対応するため、強度行動障がい者向け日中活動場所の設置、高齢就労継続支援B型利用者の作業種変更や生活介護サービスへの移行支援、高齢入所利用者の介護保険施設移行検討など、個々の状況に応じたきめ細やかな支援を推進しました。また、地域連携推進会議を義務化に先んじて開催し、外部の視点を取り入れることでサービスの質を確保しました。

(三) 業務改善に向けた取組

ICT化プロジェクトチームを中心に、会議録の音声による文字起こしなど業務改善に資する機器の試行を実施しましたが、業務フローの見直し等新たな課題がみられ、引き続き現場に密着した業務の効率化に取り組むこととしました。また、昨年度導入したグループウェアの機能を活用し、文書收受、電子回覧等を全職員が行うことができるよう体制整備を行い、令和七年度から実施することとしました。

(四) 権利擁護の徹底

利用者虐待防止のための指針に基づいたマニュアルの理解と遵守

の徹底や虐待防止チェックリストによる振り返りを継続的に取り組みました。また、定期的な虐待防止責任者会議の開催、家族会との意見交換やアンケート調査を実施し、職員の意識向上に努めました。

(五) 職員の待遇改善

若年等に重点を置いた全年齢層での基本給の引き上げと職責を重視した給与体系への変更を行うこととしました。また、柔軟な働き方の実現に向けて取り組むこととし、改正育児・介護休業法の対応を一部前倒しして実施することとしました。

(六) 職員採用の取組強化

令和七年四月一日付で福祉職十三名、看護師二名、管理栄養士一名、技師一名を採用しました。

採用試験について、他の実施方法の情報収集・検討を行い、採用プロセスの効率化と応募者の利便性向上を図るため、令和七年度からは、オンライン試験を一部取り入れることとしました。また、インターンシップを受け入れることで得た学生の求める内容を受入プログラムに反映させていくこととしました。

(七) 危機管理体制の強化

各施設において、事業継続計画に基づく訓練・研修を実施し、危機発生時の役割分担や行動手順の理解を深めました。

(八) 施設の長寿命化と計画的な改築等

専門性を有する事業者からのアドバイスをもとに、長寿命化を図るため大規模改修計画を策定し、順次修繕を進めていくこととしました。また、大規模修繕のため、修繕積立金に三億円、老朽化した固定資産や備品等の将来の更新に備え、備品等積立金に約一億八千万円の積立を新たに行いました。

秋田県点字図書館

《夏休み点字図書館探検》

《夏休み点字図書館探検》は、子供たちに点字や点字図書館を知ってもらいつつ、視覚障がい者理解のきっかけとなることを願い、コロナ禍でも続けてきた当館独自のイベントです。対象は夏休み中の小学生ですが、大人の方にも点字図書館を知ってほしいので家族の同行は大歓迎です。

隊長が先導する館内見学で探検がスタート。書庫の前で隊長は立ち入り禁止の張り紙を指さして「ここは図書を製作しているボランティアさんでさえ普段は入れません。今日は特別な日です」と少しわざとらしいぐらいに強調します。

探検中のミッションは「1.点字で名前シールを作るう」「2.点字の暗号を解いてみよう」「3.文章を読んで録音しよう」「4.宝物を探してみよう!!」、という定番の4つですが、今年は少しだけミステリー風味でつなげてみました。ミッション3はお話の一部を読み、録音後に本人と家族が聞き直して終了、というところは同じですが、今年のお話は6種類からのくじ引きで決まります。そしてあらかじめ職員が録音しておいた音源と

聞き比べて、誤読の場所を探すという裏ミッションに続きます。誤読の部分を正しい読みにしてつなげると一つの言葉になりそれが宝探しの鍵となるのです。シナリオは《お宝の場所は暗号によれば最初に探検した書庫らしい。書庫の前には怖そうな門番が仁王立ちで「答えを聞かせてもらおうか」と簡単に通してくれそうにない。正解を伝えて中に入るとほとんど明かりが無い。目を凝らしてみると探検の時とはすっかり様変わりしている。奥には小さな赤い光と人の影。その人影は「お宝はこっちだ!!」と呼んでいる。隊員が恐る恐る書庫の最深部にたどり着くとなんと人影は隊長だった。そして隊長が指さした先にはお宝が!!》というものでした。

この他に「誤読を怒った魔女に隊長が捕まった」とか、「誤読した音訳職員が門番に捕まってしまった」というのもありました。がキャストが足りず断念し、当日の設定も自分が担当するミッションが終わった職員が、素早く次の裏方に回ることになりました。

来年は記念すべき第10回。企画を練り上げ今年以上にワクワクドキドキの探検にしたいと思います。



録音中



点字を知ろう



書庫探検



前日リハーサル



お宝はどこ？



間違い探し

南部エリア ミニミニギャラリー



「クラフトかご」作品展①



「クラフトかご」作品展②



「パッチワーク」作品展①



「パッチワーク」作品展②



「山田 隆夫」作品展①



「山田 隆夫」作品展②



「紙パックで作る灯ろう、夢灯り」作品展①



「紙パックで作る灯ろう、夢灯り」作品展②